

(患者様控)

ビグアナイド系糖尿病薬とヨード系造影剤の

合併使用に関する、当院の対応

ビグアナイド系糖尿病薬の服用中に、ヨード系造影剤を使用した CT 造影検査を実施する場合は、乳酸アシドーシスをきたすことがあるため注意が必要とされています。

(造影剤 添付文書より)

当院では、この場合ビグアナイド系糖尿病薬の服用を一定期間制限する対応をとっております。何卒、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

記

[ビグアナイド系糖尿病薬] を服用している患者様に対してヨード系造影剤を使用する際は、原則的に次の期間は [ビグアナイド系糖尿病薬] の服用を中止しております。

ヨード系造影剤を使用した検査の前後 2 日間 (検査日を含めて 5 日間)

ヨード系造影剤を使用する検査 : CT 造影、尿路造影、血管造影 (頭部・腹部・心臓) など

〈 併用が禁忌の理由 〉

ビグアナイド系糖尿病薬とヨード造影剤は、併用により乳酸アシドーシスをきたすことがあるため注意が必要とされています。原因は、ヨード造影剤の投与により一過性の腎機能低下をきたす可能性があり、その結果、ビグアナイド系糖尿病薬の腎排泄が減少し血中濃度が上昇するためと考えられています。これによって悪心、嘔吐、腹痛、下痢等や倦怠感、筋肉痛、過呼吸等が発生する恐れがあります。(死亡例の報告あり)

〈 ビグアナイド系糖尿病薬の一例 〉

- ・メトグルコ錠、・メトホルミン塩酸塩錠、・グリコラン錠、・イニシンク配合錠、
- ・エクメット配合錠 LD、・エクメット配合錠 HD、・ジベスト錠、・ブホルミン塩酸塩
- ・メタクト配合錠 LD、・メタクト配合錠 HD、・メトアナ配合錠 LD、・メトアナ配合錠 DH、
等

※不明な点やお問い合わせは、下記の方までご連絡下さい。

医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院 病診連携窓口 電話 : 0233-28-5070